

## クルリンと ほしぞらさんぽ 1月号

**あけましておめでとうございます** 冬の星座が見えてきましたよ。寒いけれどがんばって、ほしぞらさんぽに出かけましょう。1回やって「寒いからもうやめた」なんて言わないでね。繰り返すと楽しさが分かってきます。

**2025年の天体ショーは**

- ① 1月4日しぶんぎ座流星群が極大ですが、流れる数はあまり期待できないようです。ところでしぶんぎ座なんて星座があったっけ？今では使われなくなっている星座の名前です。星図では、だいたいいりゅう座のあたりと思ってください。
- ② 9月8日深夜から未明にかけて皆既月食ですが、子どもの皆さんにはちょっとつらい時刻です。
- ③ 土星の環が消えます、地球から見て、環がちょうど傾きをなくしてしまうために見えなくなります。望遠鏡が必要ですから、子ども科学館の天体観察会・**クーデの日**に見せてもらいましょう。

**冬の星空になりましたね**

“冬の”星空ってどういうこと？ 夏に見える星座と冬の夜空の星座はちがうですよ。「え～、本当にちがうの？」なんていう人はいませんよね。冬の星座はその形を見つけやすいので、ほしぞらさんぽにはぴったり。そして夏に比べて星座早見盤が使いやすい空ですよ。

冬の夜空には明るい1等星がいくつも見られるのを知っていますか。星座早見盤とか星図（星空の地図）を見ながら数えてみましょう。

**おうし座のアルデバラン**60光年、**おおいぬ座のシリウス**8.6光年、**オリオン座のベテルギウス**640光年、同じく**オリオン座のリゲル**700光年、**ぎょしゃ座のカペラ**40光年、**ふたご座のポルクス**35光年、ちょっと暗いけれど**こいぬ座のプロキオン**11光年もなかまに入れておきましょうか。この7つが冬の空に見られる1等星です。

星までの距離を小さい字で書いておきました。宇宙の遠くの遠くの、そのまた遠くにある星までの距離ですから、巻き尺で測るように正確に測ることはできませんね。近い星はかなり正確でしょうが、遠くなるほど「およそ」がつく数字です。1等星を見ながら宇宙の奥深さを味わいましょう。



あれ？ あと2つすごく明るい星がありますね。南の方にあるのは**木星**、東の方にあるのは**火星**です。今年は火星が地球に近づく年なんですよ。

**星の色**

さてほしぞらさんぽに出たら、まず星たちをじっくりながめてみましょう。なんだか色がちがうよう？ 赤っぽい星があるでしょう？ 青白い星もあるでしょう？ 若いあなた方の目ならば色の違いがよく見えるはずですよ。星の色がどう見えたか、見上げながらメモしておきましょう。双眼鏡があったら色のちがいがもっとはっきりしますよ。

どうして色がちがうのかな？ 赤っぽく見えている星たちは、星としてはお年寄りの仲間に入らしいですよ。調べてみよう。

**赤いライトを用意しよう**

暗い場所でメモなんてできるかな？ ちょっと工夫が必要です。紙ばさみに小さなメモ用紙と太いペンを用意して、小さめのライトに赤い折り紙をかぶせた赤い光で照らします。赤い光は目に優しいので、メモを書きながらでも見上げれば星がちゃんと見えるのですよ。試してみてね。

**冬の星座たち**

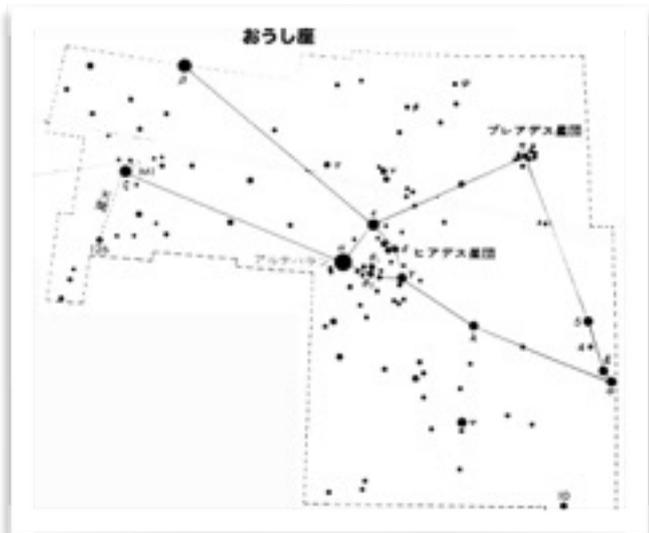
真っ先に気づくのは**おうし座**の散開星団・**プレアデス星団**（日本語の名前は**すばる**）ですね。

1等星はないけれど星が集まっているのはすぐに気づくでしょう。

その**すばる**の左下に赤っぽく輝いているのが1等星の**アルデバラン**ですよ。

次に見るのは**オリオン座**です。東の空にある時には少し斜めになっていますが、やがて真っすぐに立ってきますよ。オリオン座はだれでも知っていますね。なぜ？ それは目立つからですよ。

オリオン座が目立つわけは、一つの星座の中に1等星が2つと2等星が5つもあるからです。こ



しまう」なんて言わないで、星座早見盤と見比べて探しましょう。

冬の大きな三角形は、**オリオン座**の**ベテルギウス**、**おいぬ座**の**シリウス**、**こいぬ座**の**プロキオン**をつなぐのですね。シリウスは1等星の仲間ですが、実は -1.46等（マイナス1.46とう）と、太陽と木星や土星などの惑星以外ではいちばん明るい星なのです。地球からの距離が他の星と比べてとても近い8.6光年なので、それで明るいのかもね。望遠鏡（双眼鏡でも）で見るとキラキラ輝くのが見られます。

**ベテルギウス**は**シリウス**よりだいぶ暗いですが星の実物の大きさではシリウスよりけた違いに大きな星なんですって。**シリウス**は若い星、**ベテルギウス**はいつ超新星爆発をして死んでしまってもおかしくない老人の星だそうですよ。もっとも何百年とか何万年後のことのようにですが…。

市立図書館の児童書の理科の棚で「冬の星座」の本を借りて、もっと勉強してね。

んな星座は他にはありません。オリオンの右の肩に当たるのが**ベテルギウス**です。この星も赤っぽく見えています。

### 冬の大きな三角

冬の空にも大きな三角形が見つかります。「明るい星をつなげば、三角なんかいくつでもできて

